

# 令和4年度委員会目標 結果報告



社会福祉法人友愛会  
特別養護老人ホーム山県グリーンビレッジ



# 給食委員会

## 【令和4年度の振り返り】

- 1.災害時・感染症発症時でも継続して食事提供を行うことができる体制を整える。（BCP対策）については、マニュアルを作成し実際にコロナウィルスのクラスターが施設内にて発生したが、厨房職員に感染することなく、継続して給食提供をし続けることができた。実際に他施設では、厨房職員も感染するケースがみられたが、ビレッジでは感染することなく給食提供をし続けることができたことは良かった。
- 2.誤嚥性肺炎防止プロジェクトにおける給食委員としての活動を継続して行う。については、トロミのエラーが減ってきており、トロミの水分の作り方のマニュアル化ができているためどの職員が作成してもある程度のトロミの水分ができるようになった。



# キャリア段位・ノーリフト委員会

## 【令和4年度の振り返り】

- キャリア段位

今年度より対象者を指名するのではなく希望者を募るように変更した。以前、新入職員に対して使用していた「基本介護技術チェック表」を8月以降の新入職員から再度使用していくこととした。

- ノーリフト

腰痛予防チェック、排せつ交換・体位変換の見える化から出てきた課題に対して、入浴介助用具や移乗補助具のデモを行い、機器選定ができた。しかし、移乗補助具使用の根拠をつくったが、補助具の数が足りていないことで、実情としては抱える移乗となっている。



# 感染予防委員会

## 【令和4年度の振り返り】

- 以前作成した新型コロナウイルス感染症マニュアル当初考えていたものよりも深刻であり、不十分な部分もあった。
- 感染対策には必要であるが、恐れるあまり過剰に個人防護具を使用しコストがかかった。
- 廃棄物の置き場、出し方、管理をする特定管理者がおらず戸惑った。
- クラスタ発生後の振り返りのアンケートを取ったところ、問題点が多くあった。



# 接遇委員会

## 【令和4年度の振り返り】

- 外部からの言動についての指摘もあったが、2回目のアンケート結果からは改善が見られている。職員の意識、相互間の注意の掛け合い、意見交換を行いコミュニケーションを図るようになり、職場の雰囲気も良くなった。今後も意識を高め、質の良い業務を行って欲しい。
- 不適切ケアボックスの活用、投稿を継続して行ってほしいと考えている。



# 記録委員会

## 【令和4年度の振り返り】

1. 「介護記録の基本を元に全職員が正しい記録を記載できるように検討していく」
  - 記録の基本を再認識してもらい正しい記録の統一化を目指した。少しずつ改善されたが、統一までは至らなかった。来年度も継続して行う事とする。
2. 「印刷物が常に最新であるようにデータ内、フロア内を更新していく」
  - 保管書類や印刷する書式は改善することが出来た。
  - 各職員が保管しているファイルから旧書式を使用することがあり、課題が残った。



# 看取り委員会

## 【令和4年度の振り返り】

看取りケア対象者一覧 令和4年度～ 目標：最期までその人らしく生き抜いていただく。  
具体的取組：職員、家族を巻き込み思い出作りをする

	フロア	看取り同意日	ケアプラン作成	退所日	看取りケア期間	看取り目標達成状況
1	3階	令和4年 4月 7日	4月11日	令和4年5月24日	47	家族面会時、池の周辺の散歩をしていただいた。
2	2階	令和3年 8月24日	8月25日	令和4年 6月 8日	284	職員からの声掛けを頻回に行った。他フロアの職員の声掛けもあった。
3	いちょう	令和4年 4月21日	4月21日	令和4年8月29日	128	最期の頃は面会が多かった。ほんの少しではあったが家族の介助でジュースを口にすることが出来た。
4	2階	令和4年 4月18日	4月19日	令和4年11月23日	215	家族面会時に写真撮影を行いパネルを作成した。
5	3階	令和4年11月25日	11月28日	令和4年12月6日	11	面会に多くの方が来られた。誕生会に車椅子に乗車し参加出来た。
6	もみじ	令和2年12月21日	12月24日	令和4年12月10日	719	最期の日に家族の希望により病院受診が出来た。死に対する受容が出来た。
7	3階	令和4年12月 7日	12月9日	令和4年12月13日	6	K Pの長女が他の姉妹に状況を説明し共有されていた。最期の時に自作のジャケット着用してもらうため準備していた。エンゼルケアにも参加していただけた。
8	2階	令和4年10月 3日	10月4日	令和4年12月16日	46	妻が毎日のように面会に来られていた。
9	3階	令和4年 8月 9日	8月9日	令和4年12月21日	132	コロナ感染していたが納棺の際に家族が本人のお気に入りの服を持参された。
10	2階	令和4年12月23日		令和4年12月26日	3	好きなサイダーを飲まれ、美味しいと言われていた。
11	2階	令和5年 1月16日	1月19日	令和5年1月22日	6	急変したが、家族は最期の時に立ち会うことが出来た。
12	2階	令和5年 1月13日	1月13日	令和5年 3月 7日	54	呼吸状態が不安定になったことを家族に伝えた後、多くの方の面会があった。家族以外の方の面会もあった。1階ホールで雑壇と共に写真撮影を予定していたが、体調が変化した為、お雑壇を居室に持ち込み写真撮影した。



# 事故防止対策委員会

## 【令和4年度の振り返り】

### ※目標1－重傷事故0件

- 実際には5件の転倒による骨折事故があった。いずれも行政には報告済である。
- 全て単独事故の為、防止することは困難ではあるが、見守りを強化してほしい。

### ※目標2－皮膚剥離前年度より50%減少

- 令和3年度－72件
- 令和4年度－80件(別紙添付)

残念ながら、前年度を上回ってしまった。

同じ利用者が複数回剥離しているケースがある為、今後も注意する必要がある。



令和4年度 皮膚剥離アクシデント 利用者別発生状況						
3階		2階		ユニット		
利用者	回数	利用者	回数	利用者	回数	
AA氏	6	AB氏	4	AC氏	4	
BA氏	4	BB氏	3	BC氏	4	
CA氏	4	CB氏	2	CC氏	3	
DA氏	3	DB氏	2	DC氏	3	
EA氏	2	EB氏	2	EC氏	1	
FA氏	2	FB氏	2	FC氏	1	
GA氏	2	GB氏	2	GC氏	1	
HA氏	2	HB氏	2	HC氏	1	
IA氏	2	IB氏	1	IC氏	1	
JA氏	2	JB氏	1			
KA氏	2	KB氏	1			
LA氏	1	LB氏	1			
MA氏	1					
NA氏	1					
OA氏	1					
PA氏	1					
QA氏	1					
RA氏	1					
合計	38		23		19	



# 身体拘束廃止委員会

## 【令和4年度の振り返り】

- 家族より同意書を頂き身体拘束を行うということにはなかった。
- 2階利用者について落ち着きが無く荷物をもってエレベーター付近を歩かれていたことがあった。為精神科医に相談し、安定剤を処方して頂いたり、エレベーターのドアを3秒ロックしたことはあったが、利用者が落ち着き次第解除した。
- 表面化しにくい拘束であるスピーチロックについては、接遇委員会のアンケートでも報告されていたが、日常的に実態としてあるため、今後も意識を高めて欲しい。



# 虐待防止委員会

## 【令和4年度の振り返り】

- 虐待委員会に報告した件数は6件あった。その多くが激しい、あるいはきつい言葉で利用者に注意を促す等の報告であった。
- 言葉遣いについては、法人としてもかねてより丁寧にするよう伝えられている。今後も丁寧な言葉遣いをするよう徹底して欲しい。



# 排せつ改善委員会

## 【令和4年度の振り返り】

- 機器の導入を検討し個々に適した排泄介助の方法を見直し最適な介助を行う事を目指した。採用にまでは至らなかったが新たな改善点や異なるアプローチが見え、次期に繋がる改善点や方法が明らかとなった。



# 入浴改善委員会

## 【令和4年度の振り返り】

- 入浴時のインシデント集計した結果、皮膚剥離・内出血(発見も含む)35件、転倒・ずり落ち4件あり、各フロアで対応してもらう。
- トウツティの清掃・消毒に関しては、入浴委員で日時を決め、定期的に行ってきた。
- 入浴の湯入れの時間について、以前の時間で湯を入れると入浴時湯が溢れ出ている状況があり、委員会で湯を入れる時間を検証し、現在の時間に変更する。



# レクリエーション委員会

## 【令和4年度の振り返り】

- 現在入所している利用者の年齢やADLに合わせたイベントの見直し、バイキング形式では食形態が合わず食べられない方も多  
い。その都度、現状に合わせたイベントや飲食を提供していき  
たい。
- 新型コロナウイルスの影響で中止や延期が続いた。イベントが  
減ってしまった中で今の状況にあったイベントを開催すること  
が出来た。



# 褥瘡予防委員会

## 【令和4年度の振り返り】

1, 目標：褥瘡予防について各フロアの褥瘡委員が中心に活動できるようにする。

- 利用者の体調変化により褥瘡発生リスクが高くなった時に多職種が連携し早期に対応ができた。
- ピーチクリークッションを取り入れ、1年目であるが、臥床時のポジショニングは統一できていた。
- 令和4年度褥瘡発生者数：16名

2, 目標：誤嚥性肺炎防止プロジェクトにおける、褥瘡委員としての活動を行う。

- 新しく入所された方はサマリーや情報提供書、調査書などをしっかり確認しどう対応していたか、嚥下状態はどうかかなど、安全な食事提供ができていない。



# 医療的ケア対策推進委員会

## 【令和4年度の振り返り】

- 1, 令和4度1年間インシデントの報告なし。  
安全な医療的ケアが提供できた。
- 2, 介護職員による、吸引の勉強会の実施ができ、手技や感染防止について再確認ができた。
- 3, 高坂看護師が研修指導者養成研修を修了。